



# 広報

## No.10

2023年10月

[編集・発行]

上内田地区まちづくり協議会 広報部

# ふれあい 上内田

【画像提供】上内田小学校



## 上内田小学校 創立150周年

1976年頃まであった  
木造校舎



まちづくり協議会3部会紹介 企画部 ② 情報発信部 ③ 広報部 ④  
上内田小学校創立150周年記念事業 クリアファイル作成配布 ⑤  
掛川大東線の隧道群 (青田隧道・檜坂隧道・岩井寺隧道)・編集後記 ⑥





# まちづくり協議会3部会 活動紹介 〈企画部・情報

## 企画部

企画部は、まちづくり協議会事業の企画・立案することを事業計画としていますが企画部単独ではなく、協議会全体の協議の中で取組項目が決められています。実際には、多くの年間事業の本年度取組み方法は如何にとの検討、具体的展開方法は協議会各部と協議確認し、その施策運営が円滑に行われるよう連絡調整を共に行っていくことに参画しております。

取組み項目は随時課題の発生に合わせ協議会全体での対応が必要となりますが、とりわけ新型コロナウイルス感染症が第5類に移行後の現在、上内田ビジョンの種々項目が再検討され、細分化された項目の中から必要かつ具現化可能な課題が上内田地区学習センター、社会福祉協議会、区長会長との合同会議で順次検討がなされてきています。

自主組織としての上内田地区まちづくり協議会が、各種課題に対して協議会員皆様のご理解とご協力を頂きながら、生きがいのある住みよい地域を作っていければと考えます。協議会活動へのご参加ご協力宜しくお願い申し上げます。

### 企画部 事業計画

- 1 まちづくり協議会事業の企画・立案
- 2 総会・運営委員会・企画会・正副部長会の開催・運営及び諸事務
- 3 まちづくり協議会の会計事務および地区まちづくり協議会交付金事務
- 4 地区集会の開催・運営支援
- 5 地区消防団員確保の支援
- 6 和田団地跡地利用検討委員会の開催
- 7 県道小笠掛川線（大谷～桶田）の拡張事業に関する協議
- 8 上内田ビジョン具現化推進検討会の開催



### メンバー

役職	氏名	区
部長	佐々木 雅由	1区
副部長	龍崎 昌彦	1区
部員	清水 昭	6区
部員	山本 充宏	3区



## 発信部・広報部

まちづくり協議会は、地区の皆さんが主体となって、様々な活動を活発に行なっています。今回は、協議会のうち3部会（企画部・情報発信部・広報部）の取り組みを紹介します。

## 情報発信部

平成28年、上内田まちづくり協議会に上内田の10年後を見据える（考える）「プロジェクト10（テン）」を発足し、チームとして各地区から約20名が選出されました。チームは上内田の環境や地域性などを踏まえて現状を把握するために、地区全戸約750戸を対象にアンケートを配布集計しました。その結果に対して短期・長期の具現性や必要性を分析し、「プロジェクト10」

はメンバーを半数に縮小し「ネクスト10」へと引継ぎました。

その後、アンケート結果を現実化するために、まずは上内田ホームページを開設し、地区内外へのコミュニティツールとして上内田の情報収集・提供を行いました。上内田ホームページでは、上内田の紹介、情報、行事、ライフマップ（衣食住）、また過去2年間分の「広報ふれあい上内田」「協議会だより」「福祉だより」「にこにこひろば」等の地区内発行の広報資料や防犯・緊急災害時のリアル情報を発信しています。


4年目となる「情報発信部」は現在、上内田地区協議会内において4名で取り組んでおり、特に上内田地区内の企業様のご理解とご協力により協賛金を賜り運営・管理しております。

今後は更なる充実した情報を、このホームページを通じて上内田地区の情報を広く発信し、地域の活性化が図れるよう務めてまいります。

**掛川市上内田のホームページへようこそ**

ホームページをご覧になる方へのご利用方法のご案内

「上内田HP」(kamiuchida.com)で検索



上内田HP

検索 

スマートフォンはこちらから



## メンバー

役職	氏名	区
部長	渥美 友見	2区
副部長	潮 拓哉	9区
部員	渥美 里美	1区
部員	福島 雅代	6区



## 広報部

広報部は、まちづくり協議会・学習センター・区長会・福祉協議会及び地域の活動を広報誌「協議会だより」年10回（回覧）、「ふれあい上内田」年2回（配布）の発行をしています。

部員は各区から1名（任期2年）オブザーバー1名の計10名にて活動しています。毎月の各団体が主催するイベントや講演会などに取材に伺い、写真や内容をまとめ、正確に伝えることを心がけています。



### メンバー

役職	氏名	区
部長	久保田 守	2区
副部長	池田 あけみ	9区
副部長	渥美 恵実	1区
部員	山本 康裕	3区
部員	藤原 直史	4区
部員	角皆 孝	5区
部員	高山 富士夫	6区
部員	鈴木 知子	7区
部員	平野 隆久	8区
オブザーバー	松本 吉雄	9区



# 上内田小学校創立150周年記念事業で クリアファイルが作られました

上内田小学校が令和5年6月8日に創立150周年を迎え、150周年記念事業実行委員会により記念として『上内田地区の子供たちに願う「めざす未来の姿」クリアファイル』が作成され、上内田地区全世帯に配布されました。



## 〈150周年記念事業実行委員より〉（一部省略）

150周年を迎えるにあたりまして、地域の皆様には、これからの次代を担う、上内田地区の子供たちに願う「めざす未来の姿」を募集させていただき、150周年記念事業実行委員会にて協議し、鈴木浩行様から御応募いただきました、「好きなこと やり抜く気持ち大切に 夢みる力 いつまでも」が選ばれました。

この言葉には、子供たちに対して「自分の夢を大切にしていきながら、努力やがんばりを続けてほしい」という願いが込められています。

このほかにもたくさんの素晴らしい作品が寄せられました。どの作品にも「子供たちに願う地域の方々の思い」が込められており、地域ぐるみで地域の子供たちを育てていこうとする思いを感じさせていただきました。

今回選定されました「めざす未来の姿」が、これまでの上内田小学校の150年間の歴史と地域の歩みが今後のさらなる発展につながるような新たな礎として、地域の皆様にとって、より親しみのあるものになることを願い、日頃から使用することの多い「クリアファイル」に「めざす未来の姿」を印刷したものを作成させていただきました。大切に使用していただくとありがたく存じます。よろしくお願い致します。





上内田  
の  
文化遺産ずい どう  
掛川大東線の隧道群

青田隧道・檜坂隧道・岩井寺隧道



平成10・11年度に『静岡県近代化遺産総合調査』が行われ、その報告書の中に上内田の3つの隧道が掲載されています。

\*静岡県近代化遺産とは…

幕末から第二次世界大戦終了までの期間に西欧の技術をはじめとする近代的手法により構築された建造物などで、地域の近代化の歩みを現代に伝える貴重な文化遺産

青田・檜坂・岩井寺隧道共、県道掛川大東線沿いに建設された隧道である。現在、青田隧道は新青田トンネルが共用しており、檜坂・岩井寺隧道は近接地を切通しとして県道が通っている為、3隧道共現在は掛川市が管理し自転車道及び地元生活道路、農耕道路として使用されている。

青田隧道が建設された経緯は、掛川町より南郷村、上内田村へ通じる青田坂が危険な坂道として使用されていた。そのため、明治25年(1892)、3ヵ町村組合を組織し、明治26年に隧道工事に着手し明治28年3月に完成した。

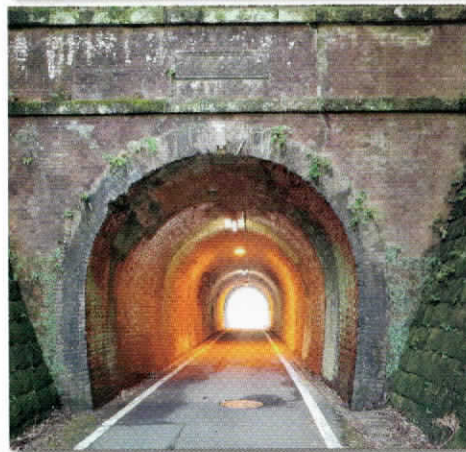
同じく檜坂・岩井寺隧道も続けて計画されたが、工事費が多額であった為にしばらく延期になった。明治32年掛川町・上内田村・佐塚村・大坂村の1町3村で組合を組織し、明治35年工事を着手し、両隧道とも明治38年完成した。

隧道が完成した為、急な坂道の通行がなくなり南部より掛川町へ米・麦・製茶等が容易に搬入されるようになった。3隧道とも掘進工法で施行され、煉瓦で覆工されている。隧道内部の煉瓦表面の剥落著しいが坑口の石積等は良好に残っている。

【引用・参考文献】  
静岡県の近代化遺産



青田隧道 長さ223.5m、幅員4m



檜坂隧道 長さ47.5m、幅員4m



岩井寺隧道 長さ137m、幅員4m

編集後記

長かったコロナウイルス感染症も減少し5類に移行しましたが、終息までには至っていません。昨年度まで活動を控えてきて、引き続き今年も中止又は縮小といった事業もあります。後期には文化祭・体育祭等の事業が予定されており、通常に近い内容で各事業が行われる事を望みます。

今回は協議会の3部会の紹介・上内田小学校150周年記念・掛川大東線の隧道群を掲載しました。これからも広報誌を通じて地区の活動等お伝えできればと思っています。

〈本誌の掲載内容について〉参考文献などによる一説であり、諸説ある場合があります。

